

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

=うつくしい

第13号

# うづぐすえ

令和5年 3月

発行：東北文教大学 地域連携

ボランティアセンター

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会



<2022年度実践報告>

# 東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト これまでの歩み

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクトとは、南山形に根付く文化財（文化資源）を積極活用した地域振興策を大学と南山形地区がタッグを組んで実践し、新しいかたちの地域連携を目指すことを目的として立ち上げられたプロジェクトです。本学の学生・教職員および地域のプロジェクト委員・協力委員と共に、具体的に5つの実践プランに分かれて活動しております。本プロジェクトは、2016年度から本格的に始動し、2022年度で7年が経ちました。

2022年度当初に予定しておりました各実践プランの計画の多くは、非常に残念ながら新型コロナウイルスの影響により、今年度も中止せざるを得ない状況となっしまい、皆様にもご迷惑をおかけしてしまいました。簡単ではありますが、以下2022年度各実践プランの活動概要です。

## 実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動

2016年度 「氷河期の埋没林」「片谷地の一本杉」の看板設置、周遊コース作成  
2017年度 野外ミュージアム巡り1回実施、「狼石と茂吉」の看板設置  
2018年度 野外ミュージアム巡り3回実施、南山形小との連携  
2019年度 野外ミュージアム巡り3回実施、南山形小との連携  
2020年度～ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

## 実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ」作成

2016年度 第1弾「自然・歴史 まるぐマップ」作成  
2017年度 第2弾「自然・歴史 まるぐマップ」作成  
2018年度 実践プラン1と同様  
2019年度 実践プラン1と同様  
2020年度～ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

## 実践プラン3 DVDの作成

2016年度 「おもしろえがらみでけろず～南山形文化探訪」作成  
2017年度 「おもしろえがらみでけろず～南山形歴史探訪」作成  
2018年度 「おもしろえがらみでけろず～南山形自然探訪」作成  
2019年度 野外ミュージアム時に鑑賞会実施  
2021年度・2022年度 「須川埋没林特集」を作成中で、年度内に完成予定

## 実践プラン4 南山形地区再発見の「講座」開設

2016年度 5講座開設  
2017年度 3回の講座・シンポジウム開催  
2018年度 2回の講座・シンポジウム開催  
2019年度 3回の講座・シンポジウム開催  
2020年度～ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

## 実践プラン5 「谷柏田植踊」の復活・継承運動

2016年度 第一演目「お正月」復活 4公演出演  
2017年度 第二演目「思う人」復活 7公演出演  
2018年度 第三演目「一七がえ」復活 4公演出演  
2019年度 第四演目「やんさのさ」復活 4公演出演  
2020年度 5公演出演  
2021年度 2公演出演  
2022年度 4公演出演



## 活動報告

令和3年度と令和4年度は「須川埋没林特集」の作成に取り組んでおり、年度末に完成予定です。概要は以下の通りです。

### (1)DVDタイトル

#### 南山形に埋もれる氷期の森「氷河期の埋没林」



### (2)映像制作について

2003年に山形大学の桜井敬久教授によって谷柏の須川で埋没林が発見されて以来、須川の埋没林を地域資源、学術的資料、歴史遺産として何とか後世に残そうとする南山形地域の今までの取り組みを追いながら構成しまとめています。河川に埋まっている埋没林を多面的に映し出すためにドローンを活用し、県の河川の支障木として掘り出される現場風景、関係者のインタビュー等をもとにドキュメンタリー映像として編集制作しています。

[ナレーション：東北文教大学人間科学部子ども教育学科2年 高橋七海]

### (3)映像の概要

須川の埋没林の2万7千年前の樹木である根拠についての説明は、山形大学名誉教授の山野井徹先生の資料を利用して説明しています。また、氷河期最後の氷期の森として、当時の森林植生を物語る資料として山形県立博物館の学芸員で理学博士の長澤一雄先生に説明をいただき、県立博物館の館長生島信行氏からは博物館としての使命、展望について話を伺いました。河川の支障木として掘り出される現場の様子は、ドローンを活用して上空からも撮影しています。

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会委員長の須藤善友氏からは、埋没林の保存まで至っていない現状を踏まえながら、埋没林を視察に来ていただいた県知事吉村美栄子氏の思い出や埋没林保存対策委員会、地域住民の環境整備（ボランティア草刈作業）等の活動を紹介いただき、埋没林を保存する意義、子ども達が郷土愛を醸成するために必要な貴重な歴史遺産・郷土資料として保存すべきといったお話をいただきました。

最後に埋没林の周辺に残る歴史事象として、江戸時代の須川舟運の南の玄関口としての谷柏船着場の話題も盛り込みました。また明治11年に当時の県令三島通庸時代につくられた眼鏡橋（現在の常磐橋）の絵画を挿入して、イギリスの旅行家イザベラバードが完成間近か眼鏡橋を見て近くを通過したことも紹介しています。



## 活動報告

令和4年度も学生組織「民俗芸能サークル『舞』」に所属する第7期生が以下の公演活動を行いました。

- (1)令和4年10月9日(日) 東北文教大学「文教祭」
- (2)令和4年11月3日(木・文化の日) 山形市南部児童遊戯施設コパル「コパル文化祭」
- (3)令和4年11月19日(土) 山形テルサ「祭り・伝承芸能を未来につなぐ会」
- (4)令和5年1月7日(土) イオンモール天童「新春伝承芸能フェスティバル」

## メンバー紹介

### ■ 東北文教大学民俗芸能サークル「舞」所属学生 16人 部長 小林勇輝

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1. 阿部玖未 (あべくみ)     | 人間関係学科2年  |
| 2. 伊藤涼々夏 (いとうりりか)  | 同         |
| 3. 岡崎琴美 (おかざきことみ)  | 同         |
| 4. 小坂真輝 (こさかまさき)   | 同         |
| 5. 小嶋百咲 (こじまひさき)   | 同         |
| 6. 小林勇輝 (こばやしゆうき)  | 同         |
| 7. 佐藤愛稀 (さとういつき)   | 同         |
| 8. 菅江愛里菜 (すがえありな)  | 同         |
| 9. 高木穂栞 (たかきほのか)   | 同         |
| 10. 高野永真 (たかのえいしん) | 子ども教育学科2年 |
| 11. 高橋七海 (たかはしななみ) | 子ども教育学科2年 |
| 12. 阿部莉央那 (あべりおな)  | 人間関係学科1年  |
| 13. 吉田士道 (よしだしどう)  | 同         |
| 14. 小川穂乃華 (おがわほのか) | 同         |
| 15. 森谷彩加 (もりやさやか)  | 同         |
| 16. 高橋真凜 (たかはしまりん) | 同         |

[顧問：菊地和博・鈴木 純]



### ■ 谷柏田植踊保存会(地域在住者) 15人 会長 枝松昭雄

[順不同]

- 1.唄： 伊藤哲雄・石井慶市・丹野裕志・高瀬勲・金沢英雄・吉田重夫・半田利男
- 2.笛： 情野卯工門
- 3.口上： 横沢正巳
- 4.寄せ太鼓： 東海林明美・中村京子・渡辺千矢子・渡辺正江・横沢章子
- 5.アドバイザー： 伊藤香織

今回も「うづぐすえ」第13号をご覧いただきありがとうございました。お問合せの際は右の大学事務局までご連絡下さい。また、本プロジェクトのHPもありますので、PCやスマートフォンからも閲覧することができます。本学HPからもリンク可能です。<URL : <http://uzugusue.netj.jp/> >

#### ●事務局連絡先

〒990-2316 山形県山形市片谷地515  
 東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会  
 東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局  
 TEL : 023-688-2298